

平成 29 年度 三重県立鈴鹿青少年センター事業報告

平成 29 年度は、第 3 期指定管理者の最終年にあたり、指定管理者で提案した事業計画に則り、社会教育施設としての役割を果たすため、各種事業に取り組み、かつ、健全な施設運営を果たすため下記の諸事業を実施した。

1 受入事業

・利用状況（※は指定管理者評価項目）

延利用人数 74,400 名（前年度比+338 名）※目標値：73,300 名

一日研修利用人数 15,015 名（前年度比+2,196 名）

延宿泊人数 31,197 名（前年度比▲1,481 名）

定員稼働率 26.74% ※目標値：26.5%

団体数 924 団体（前年度+15 団体）

2 利用者の拡大・促進

（1）利用者サービスの充実

- 1) 鈴鹿青少年センター運営方針・利用目標を設けて、利用者サービス拡大に努めた。
- 2) 繁忙期及び利用団体に応じて休業日の営業（4 月～8 月）を行った。
- 3) 利用者アンケートに基づく施設改修のハード整備を実施。また、対応可能な箇所から改善を行いサービスの向上に努めた。
- 4) 出前事業や体験活動サポート事業に職員を講師として派遣し、体験活動の場を提供しながら、施設と伝統産業の PR 等を行った。

（2）広報及び利用促進活動について

- 1) 各種事業とイベントについて、市内を中心とした広報紙に情報提供を行った。（Voice-M-Magazine、スキップ等）
- 2) 各種主催事業チラシを独自で作成し、市内小中学校、各市町教育委員会、近隣コミュニティーセンター及び鈴鹿、津、四日市の県庁舎へ設置や配布依頼を行うとともに、県政記者クラブへも資料提供を行った。
- 3) 近隣市町広報紙への主催事業募集掲載を行った。（鈴鹿市・亀山市）
- 4) 関係団体が開催するイベントに体験ブースを出展し、施設と伝統産業の PR を行った。
- 5) 当施設のホームページで事業やイベント案内に加え、ブログを通じて主催事業などの活動報告の情報を発信した。
- 6) 鈴鹿市及び津市教育委員会を通じ、両市の小中学校校長会への施設利用依頼を行った。
- 7) 鈴鹿市内の未利用学校へは、当施設職員が施設の特徴や教育施設としての利点を説明し、今後の施設利用について依頼を行った。

（3）職員研修

- 1) 東海北陸地区青少年教育施設協議会運営研究大会へ参加した。
- 2) 各種講習会、研修会（個人情報保護等）へ参加した。
- 3) 教職員 2～3 年次研修受入（1 名）を実施した。

（4）その他

- 1) 三重まるごと自然体験ネットワークへの参画

平成 28 年に設立された「三重まるごと自然体験ネットワーク」へ参画し、青少年センターで実施可能な体験活動の情報の入手や主催事業時に所外で活動するプログラムの情報を入手できる体制を確保した。

3 主催事業

(1) 創作活動事業

- 1) 実施期日：年間随時
- 2) 延べ参加人数：5,450名
- 3) 内 容：センター利用者の希望に応じて、伊勢型紙や麩き杉などの活動支援を行った。

(2) 親子アウトドア体験

- 1) 実施期日：平成29年5月27日
- 2) 延べ参加人数：48名
- 3) 内 容：低年齢層の子どもとその親を対象にした日帰りキャンプ体験を実施。活動内容には災害時に役立つ火起こし体験やハイゼックスを使った炊飯など防災体験の機会を提供した。

(3) 単級学級交流

- 1) 実施期日：平成29年7月4日～5日
- 2) 参加人数：148名
- 3) 内 容：鈴鹿市(4校)と津市(1校)の単級学級校の合同集団宿泊学習として実施し、他校の生徒とコミュニケーションを図ることをとおして社会性などを身につける場を提供した。

(4) ボランティア養成講習会(レッツ・チャレンジ2017 事前合宿)

- 1) 実施期日：平成29年8月7日・8日
- 2) 延べ参加人数：3名
- 3) 内 容：野外活動に興味のある高校生、インターンシップの大学生や一般社会人を対象として安全に配慮した活動計画の作成と、レッツ・チャレンジ2017にも参加することで実践の場を提供し野外活動ボランティアの養成に努めた。

(5) レッツ・チャレンジ2017

- 1) 実施期日：平成29年8月23日～26日及び9月23日
- 2) 延べ参加人数：46名
- 3) 内 容：自然の中で年齢の異なる子どもたちが共同生活をしながらいろいろな体験活動にチャレンジすることで自然の素晴らしさを知り、自然に対する理解や愛情を育てることを目的としたロングキャンプを開催した。

(6) 子ども体験遊びリンピック in みえ

- 1) 実施期日：平成29年10月1日
- 2) 参加人数：77名
- 3) 内 容：体験の風をおこそう月間のイベントとして、三重県青少年施設協議会に加盟する3施設の合同イベントとして各種体験活動を行った。

(7) 絆キャンプ

- 1) 実施期日：平成29年10月25日～26日
- 2) 参加人数：適用指導教室参加者
- 3) 内 容：桑名適用指導教室に参加する子どもたちを対象とした宿泊研修を共同で開催し運営をサポートした。

(8) わくわくファミリーキャンプ

- 1) 実施期日：平成29年10月28日～29日
- 2) 参加人数：43名(ボランティア及びスタッフを除く)
- 3) 内 容：親子がアウトドア活動や体験活動をとおしてコミュニケーションを図り、家族の絆を深める機会を提供した。

(9) キッズチャレンジスポーツ

- 1) 実施期日：平成29年11月11日～12月2日【全4回】
- 2) 延べ参加人数：102名

- 3) 内 容：ニュースポーツなど様々な運動を通じて体力向上を図るとともに、身体を動かすことの喜びを知り、やり遂げる達成感を体験させ努力する子どもの育成を図った。

(10) 大人の学校シリーズⅠ

1) そは打ち講座

ア、実施期日：平成29年11月7日・10日

イ、延べ参加人数：49名

ウ、内 容：そば道場すゞかから講師を招き、そば粉からそばを作る体験を行った。

2) 篆刻講座

ア、実施期日：平成29年11月16日・30日

イ、延べ参加人数：44名

ウ、内 容：自分でデザインした篆刻を作成し、第2回目で水墨画を描いて押印し、作品を完成させた。

3) スクエアステップと笑いヨガ

ア、実施期日：平成29年11月21日・28日

イ、延べ参加人数：36名

ウ、内 容：一般成人を対象とした健康をテーマとした講座として、ヨガと笑いを併せた講座を開催した。

(11) ウィンターアドベンチャー

1) 実施期日：平成29年12月9日～10日

2) 参加人数：53名（スタッフを除く）

3) 内 容：創作活動でキャンドルをつくり、作ったキャンドルを使ったキャンドルファイヤーを行うなど季節を感じる1泊2日のキャンプを行った。

(12) ウィンターファミリーキャンプ

1) 実施期日：平成30年1月13日～14日

2) 参加人数：37名（スタッフを除く）

3) 内 容：10月開催のファミリーキャンプの冬バージョンとして開催。親子で行う創作活動や野外炊飯を行った。

(13) おもしろ自然科学教室

1) 実施期日：平成30年1月27日・2月3日・10日

2) 延べ参加人数：86名

3) 内 容：毎回違うテーマに基づいた実験や科学の原理を用いた製品づくりをすることで科学に興味のある子どもの育成を図った。

(14) 大人の学校シリーズⅡ

1) そは打ち講座

ア、実施期日：平成30年2月6日・9日

イ、延べ参加人数：73名

ウ、内 容：そば粉から手打ちそばを作成し出来たてのそばを食べる講座として開催し、参加者の交流の場を提供した。

2) 篆刻講座

ア、実施期日：平成30年2月15日・22日

イ、延べ参加人数：59名

ウ、内 容：篆刻を字体からデザインし作成する講座で、一般成人を対象として作品を完成させる体験講座を開催した。

(15) センターフェスタ

- 1) 実施期日：平成30年2月25日
- 2) 来場者数：2,914名
- 3) 内 容：県内社会教育施設などと連携し、様々な活動を無料で体験できる機会として施設の開放を行う「センターフェスタ」として開催した。

(16) 親子Day キャンプ

- 1) 実施期日：平成30年3月10日
- 2) 参加人数：44名
- 3) 内 容：親子での調理活動や所外活動をとおして家族の絆を深める機会を提供し、手軽に親子でアウトドアや野外活動を体験する機会を提供した。

(17) 親子でチャレンジ・飾り巻き寿司

- ア、実施期日：平成30年3月21日
- イ、参加人数：34名
- ウ、内 容：親子で共同作業を行うことで家族の絆を深める機会を提供した。食育体験として話題のパンダの巻き寿司作りを行った。

(18) Gym With English

- ア、実施期日：平成30年3月25日
- イ、参加人数：38名
- ウ、内 容：幼時から低学年を対象として、運動能力の向上と英語に興味を持つきっかけ作りとなるよう、英語での声掛けをしながら行う簡単な運動を体験した。

(19) 出前・イベント出展等

1) 体験活動サポート事業

ア、鈴鹿市立鈴峰中学校

(ア) 実施期日：平成29年10月28日

(イ) 体験人数：30名

(ウ) 内 容：中学校からの依頼を受けて職員を派遣し、創作活動の出前事業を行った。

2) 各種イベント出展及び体験活動サポート以外の出前講座

ア、春のわくわくふれあい祭り

(ア) 実施期日：平成29年4月22日

(イ) 体験人数：51名

(ウ) 内 容：四日市少年自然の家及び周辺施設が開催するイベントへ出展し、体験活動の場を提供した。

イ、第12回子育て応援！わくわくフェスタ（三重県立石薬師高等学校）

(ア) 実施期日：平成29年11月23日

(イ) 体験人数：150名

(ウ) 内 容：三重県及びみえ次世代育成応援ネットワークが主催するイベントに出展し、体験活動の場を提供した。

ウ、冬のオープンデー（四日市市少年自然の家）

(ア) 実施期日：平成29年2月18日

(イ) 体験人数：181名

(ウ) 内 容：四日市市少年自然の家が開催するイベントに体験ブース（プラバンで作るオリジナルキーホルダー作り）を設けて体験活動の場を提供した。

エ、熊野少年自然の家オープンデー

(ア) 実施期日：平成30年3月18日

(イ) 体験人数：107名

(ウ) 内容： 県内社会教育施設の熊野少年自然の家が開催する無料開放イベントへの協力として体験ブースの出展を行った。

4 施設整備

(1) 独自整備分 (250 万円以上の修繕や長期整備で要望している整備の部分実施等)

- 1) 宿泊棟畳表替え (一部の宿泊室)
- 2) 宿泊棟エアコン更新 (10 台)
- 3) 貸し出し用器具更新 (TV 及び DVDPlayer)

5 利用人数及び利用料収入

年度	利用人数		年度	利用人数		平成28年度 比較
H28年度	宿泊研修	32,678人	H29年度	宿泊研修	31,197人	▲1,481人
	一日研修	12,819人		一日研修	15,015人	2,196人
	延べ人数	74,062人		延べ人数	74,400人	338人
	施設名	利用料金		施設名	利用料金	
	宿泊利用	40,209,206円		宿泊利用	36,775,596円	▲3,433,610円
	研修室利用(宿泊)	2,109,575円		研修室利用(宿泊)	1,985,100円	▲124,475円
	研修室利用(日帰り)	2,012,502円		研修室利用(日帰り)	2,144,360円	131,858円
	設備器具利用	894,200円		設備器具利用	805,900円	▲88,300円
	合計	45,225,483円		合計	41,710,956円	▲3,514,527円

◎施設利用増減説明

県外の宿泊研修団体(成人)の利用がキャンセルとなったことにより、宿泊利用料は▲3,433,610円となり、宿泊研修に伴う研修室及び設備器具利用料も減収となった。

一方で日帰り団体における研修室の利用は前年度より 2,196 人増加し、施設全体の延べ人数は 338 人増の 74,400 人となった。

平成29年度 鈴鹿青少年センター施設利用状況一覧表

月	開所 日数	宿泊可 能	利用 日数	施設稼働率	利用団体数	延宿泊者数	宿泊利用率	延利用者数	施設利用率	内1日研修
4月	30	27	30	100.0	62	4,342	43.7	8,835	80.0	816
5月	31	30	30	96.8	73	4,251	38.5	8,015	70.3	847
6月	30	28	28	93.3	85	3,618	35.1	7,789	70.6	1,064
7月	30	29	30	100.0	112	3,862	36.2	8,973	81.3	1,256
8月	31	31	31	100.0	122	5,358	47.0	10,289	90.2	1,005
9月	29	28	28	96.6	68	1,600	15.5	4,210	39.4	911
10月	30	26	26	86.7	70	1,708	17.9	3,818	34.6	1,196
11月	29	27	27	93.1	81	758	7.6	3,563	33.4	2,154
12月	27	25	24	88.9	74	1,577	17.1	4,299	43.3	1,527
1月	27	19	18	66.7	52	862	12.3	2,815	28.3	1,145
2月	27	17	22	81.5	42	339	5.4	5,028	50.6	1,498
3月	30	30	27	90.0	83	2,922	26.5	6,766	61.3	1,596
合計	351	317	321	*	924	31,197	*	74,400	*	15,015
平均	29.3		26.8	91.5	77.0	2,599.8	26.7	6,200	57.6	1,251.3

平成29年度 鈴鹿青少年センター利用人数及び利用料金統計表

月	延利用人数	延宿泊人数	利 用 料 金								利用料金 合計
			施 設 利 用 料 金							設備器具	
			宿 泊 を 伴 う 場 合				宿 泊 を 伴 わ な い 場 合				
			宿泊利用	総合研修館	大研修室	研修室・OR室 文化室 創作室	総合研修館	大研修室	研修室・OR室 文化室 創作室		
4月	8,835	4,342	5,245,560	22,540	33,000	61,380	37,000	17,760	123,320	19,700	5,560,260
5月	8,015	4,251	3,556,470	28,520	0	73,260	18,500	25,530	74,420	10,500	3,787,200
6月	7,789	3,618	3,155,050	29,440	17,320	78,120	27,750	43,840	83,530	32,700	3,467,750
7月	8,973	3,862	3,859,140	59,340	43,440	170,100	25,900	67,690	209,090	148,500	4,583,200
8月	10,289	5,358	6,686,596	108,100	78,640	353,700	44,400	17,750	93,380	247,000	7,629,566
9月	4,210	1,600	1,906,650	59,800	39,910	84,600	23,680	29,940	65,660	89,500	2,299,740
10月	3,818	1,708	3,394,066	3,220	0	41,580	28,670	78,230	73,680	7,000	3,626,446
11月	3,563	758	1,051,230	6,900	9,620	48,960	46,250	55,470	127,310	13,500	1,359,240
12月	4,299	1,577	2,122,684	9,660	9,620	69,840	40,700	76,000	159,080	43,000	2,530,584
1月	2,815	862	987,288	20,240	19,250	79,560	0	54,370	73,320	32,500	1,266,528
2月	5,028	339	471,590	48,300	8,800	108,540	9,250	32,170	63,110	50,000	791,760
3月	6,766	2,922	4,339,272	52,900	18,700	88,200	19,420	77,120	101,070	112,000	4,808,682
合計	74,400	31,197	36,775,596	448,960	278,300	1,257,840	321,520	575,870	1,246,970	805,900	41,710,956